

基本目標 4 「環境首都・新次元とくしま」の実現

未来を先取りしたエネルギーである「自然エネルギー」と「水素」。徳島の潜在的な能力を最大限に発揮し、エネルギーの地産地消やエコな社会づくりに活かすとともに、豊かな森林の次世代への継承をはじめ、人と自然が調和し、将来にわたり「持続可能な環境」を徳島の地に創り出す「環境首都・新次元とくしま」の実現を目指します。



燃料電池自動車と水素ステーション

●重点戦略1 未来エネルギーへの挑戦

- 「水素ステーション」整備、「燃料電池自動車」導入
[H28] 整備・導入
- 融資による自然エネルギー等の導入数
[H25] 23件 → [H30] 65件
- 漁業協調型洋上風力発電の実証実験
[H30] 実施



自然エネルギー（風力）

●重点戦略2 エネルギー「地産地消」の推進

- 小水力発電導入地域の拡大
[H25] 3市町村 → [H30] 12市町村
- あわ産LED道路照明灯の設置基数（累計）
[H25] 450基 → [H30] 1,800基
- 防災拠点や避難所への次世代エコカーによる電力供給の取組市町村数
[H25] 1市町村 → [H30] 全市町村

●重点戦略3 「未来への贈り物」美しく豊かな環境の継承

- 「親子環境学習教室」参加者数
[H30] 200人
- 汚水処理人口増加数（累計）
[H22~H25] 4.2万人 → [H27~H30] 8.4万人
- 化学物質の環境への年間排出量
[H25] 490t → [H30] 450t



田んぼの学校（親子環境学習）

●重点戦略4 人と自然が調和するとくしまの推進

- 「30歳未満」の狩猟免許取得者数の増加
[H25] 23人 → [H30] 50人
- 自然を再生する事業の実施地区数（累計）
[H25] 3箇所 → [H30] 6箇所
- 生物多様性リーダー数
[H30] 100人

●重点戦略5 とくしま豊かな森林^{もり}づくりの推進

- 「公的管理森林」面積の拡大（累計）
[H25] 1,949ha → [H30] 7,050ha
- 「県民憩いの森（仮称）」の創設（累計）
[H30] 10箇所
- 大学等の体験林
「フォレストキャンパス」の創設（累計）
[H30] 5箇所



とくしま協働の森づくり

基本目標 5 「みんなが元気・輝きとくしま」の実現

年齢や性別、障がいの有無に関係なく、誰もが互いに尊重しながら、「社会の担い手」として誇りを持ち、地域に貢献する喜びを感じつつ活躍するとともに、住み慣れた地域で、いきいきと「健康的な生活」を送ることができる環境づくりを推進することにより、地域に笑顔あふれる「みんなが元気・輝きとくしま」の実現を目指します。



県健康福祉祭 グラウンド・ゴルフ

●重点戦略1 生涯現役・躍動とくしまの展開

- 「シルバー人材センター」の派遣従事者の割合 [H25] 5.1% → [H30] 10% [H29] 開催
- 「関西ねんりんピック(仮称)」の本県開催 [H29] 開催
- 「地域包括ケアシステム」2020年構築を目指した、先進的取組みを行う地域のモデル地区選定 [H30] 5地区

●重点戦略2 加速する！女性の活躍促進

- 「輝く女性応援フェスティバル」の開催 [H27・H28] 開催
- 女性活躍推進法に基づく「推進計画」の策定 [H28] 策定
- 「デートDVサポーター」数 [H25] 2,129人 → [H30] 12,000人

●重点戦略3 障がい者が支える社会の構築

- 民間企業の障がい者雇用率 [H25] 1.78% → [H30] 2.00% (法定雇用率)
- 「障害者差別解消支援地域協議会」の設置・開催 [H28] 設置・開催
- 「発達障がい者総合支援センター」の就労支援件数 [H25] 968件 → [H30] 1,500件



障がい者マイスター

●重点戦略4 いきいき健康とくしまの推進

- がんの75歳未満年齢調整死亡率(人口10万人対) [H25] 76.6 (全国80.115位) → [H30] 65.3
- #8000(小児救急電話相談事業)の認知度 [H30] 80%
- 健康寿命の延伸 [H22] 男 9.54 (全国 9.13) 女 13.48 (全国 12.68) → [H29] 平均寿命と健康寿命の差の縮小



#8000(小児救急電話相談事業)

●重点戦略5 ふるさと貢献とくしまの推進

- ふるさと納税寄附件数 [H25] 2,122件 → [H30] 1,150件
- 認定NPO法人数 [H25] 1団体 → [H30] 5団体
- オープンデータ数(累計) [H30] 1,000件



ふるさと納税のご案内

基本目標 6 「まなび・成長とくしま」の実現

優れた国際感覚を持つ人材や、本県の強みを活かした成長分野で力を発揮する人材の育成とともに、人口減少社会に対応した学校、地域活力の源である文化・スポーツ、個性に応じた特別支援学校など、「徳島ならではの」教育環境を充実させ、徳島・日本の将来を担う若者を育て「まなび・成長とくしま」の実現を目指します。



Tokushima英語村プロジェクト

●重点戦略1 世界で活躍する人材の育成

- 中学生の留学、英語体験宿泊活動の年間参加者数 [H25] 42人 → [H30] 120人
- 高校生の留学(疑似留学体験、海外語学研修を含む)者数 [H25] 106人 → [H30] 300人
- 主要大学(スーパーグローバル大学)進学者数 [H25] 280人 → [H30] 340人

●重点戦略2 とくしまオンリーワンスクールの創造

- 学校分散型「チェーンスクール」実施地域数
※チェーンスクール：地理的に分散した小中学校が人的・物的に連携する小中一貫教育
[H25] 1地域 → [H27~H30] 5地域
- 学校一体型「パッケージスクール」実施地域数
※パッケージスクール：学校や社会教育施設等を核に地域一体で取り組む小中一貫教育
[H25] 1地域 → [H29] 3地域
- 「全国学力・学習状況調査」における県平均正答率
[H29] 調査で対象となっている国語・算数(数学)で
全国平均正答率以上



チェーンスクール
(テレビ会議システムの活用)

●重点戦略3 徳島の強みを活かす教育の展開

- 6次産業化商品のプロデュース数(累計) [H30] 10件
- 県立高校「林業関係学科」の設置・推進 [H28] 設置
- 「発達障がい教育・自立促進アドバイザーチーム」と連携した
実践研究の事例数(累計) [H30] 40件



県立高校林業関係学科の設置

●重点戦略4 地域がにぎわう文化・スポーツ教育の推進

- 高校生による地域連携事業に参加した地域住民等の満足度
<アンケート調査> [H30] 85%
- 全国高等学校総合体育大会の入賞(団体・個人)数 [H25] 11団体・個人 → [H30] 22団体・個人
- 全国中学校体育大会等の入賞(団体・個人)数 [H25] 9団体・個人 → [H30] 13団体・個人

●重点戦略5 若者が創るとくしまの推進

- 「地域連携フィールドワーク講座」延べ参加者数(年間) [H30] 500人
- 「とくしま若者未来夢づくりセンター」参加人数 [H30] 120人
- 農業系大学生等によるインターンシップ参加者数(累計)
[H25] 106人 → [H30] 525人



とくしま若者フューチャーセッション

基本目標 7 「大胆素敵・躍動とくしま」の実現

国内外からの観光誘客を一段と加速するとともに、文化やスポーツ、最先端のクリエイティブ産業など徳島の魅力を最大限に活用した情報発信を戦略的に進めることにより、2020年「東京オリンピック・パラリンピック」開催に向け、世界から日本に集まる注目を徳島に引き寄せる「大胆素敵・躍動とくしま」の実現を目指します。



クルーズ船の徳島小松島港寄港

●重点戦略1 「大胆素敵とくしま」世界戦略の展開

- クルーズ来県者数 [H25] 約2,800人 → [H30] 6,000人
- 「国際チャーター便」の就航都市数(累計) [H30] 2都市
- 県内への外国人延べ宿泊者数 [H25] 32,310人 → [H30] 80,000人

●重点戦略2 湧き上がる「にぎわいと感動」渦の創造

- 年間の延べ宿泊者数 [H25] 226万人 → [H30] 300万人
- 「マチ★アソビ」年間参加者数 [H25] 11.3万人 → [H30] 16万人
- 「とくしまマラソン」エントリー数 [H25] 1万人 → [H30] 2万人以上



とくしまマラソン

●重点戦略3 世界に輝く! 「あわ文化」の発信

- 阿波人形浄瑠璃公演等入場者数 [H25] 34,676人 → [H27~H30] 年間35,000人以上
- 東京オリンピック・パラリンピックを見据えた徳島ならではの「文化プログラム」の推進 [H28~H30] 推進
- 文化の森総合公園文化施設入館者数 [H25] 669,282人 → [H30] 70万人



2000人の「第九」演奏会

●重点戦略4 世界を体感! 「スポーツ王国とくしま」の推進

- 「関西マスターズスポーツフェスティバル」県内大会年間参加者数 [H30] 15,000人
- 国民体育大会天皇杯順位 [H25] 47位 → [H27~H30] 毎年30位台
- 総合型地域スポーツクラブの会員数 [H25] 8,640人 → [H30] 12,000人

●重点戦略5 一步先の未来へ! 「とくしま新魅力」の発信

- 4K8K関連企業(者)数 [H25] 2社(者) → [H30] 10社(者)
- 気鋭クリエイターが集う4K映像の祭典「4Kアワード」の開催 [H27] 開催・[H28] ~継続
- 「四国八十八箇所霊場と遍路道」の国の世界遺産暫定一覧表への記載 [H28] 記載



4K徳島映画祭(こたつシアター)

計画の進行管理と見直し

県民ニーズや社会・経済・財政の様々な事情の変化に的確に対応し、計画の円滑な推進を図るためには、計画の進捗状況を把握し、適切な進行管理を行う必要があります。

このため、点検評価サイクル（いわゆる「PDCAサイクル」）による政策評価の手法を活用した見直しを行うとともに、急激な環境変化や新たな課題に対しても、常に「進化する計画」として県民ニーズに即応して行きます。

併せて、第三者機関等において、「より県民目線に立った客観的な評価」を行っていただきながら、毎年度、計画の改善を行います。

PDCAサイクル

具体的な目標を定め（**P**lan：企画）

それに沿った活動を行い（**D**o：実施）

その結果を目標と照らし合わせて点検し（**C**heck：評価・検証）

次年度の新たな企画立案に反映していく（**A**ction：改革・改善）

計画策定にあたりいただいたご意見（SNS・パブリックコメント等）

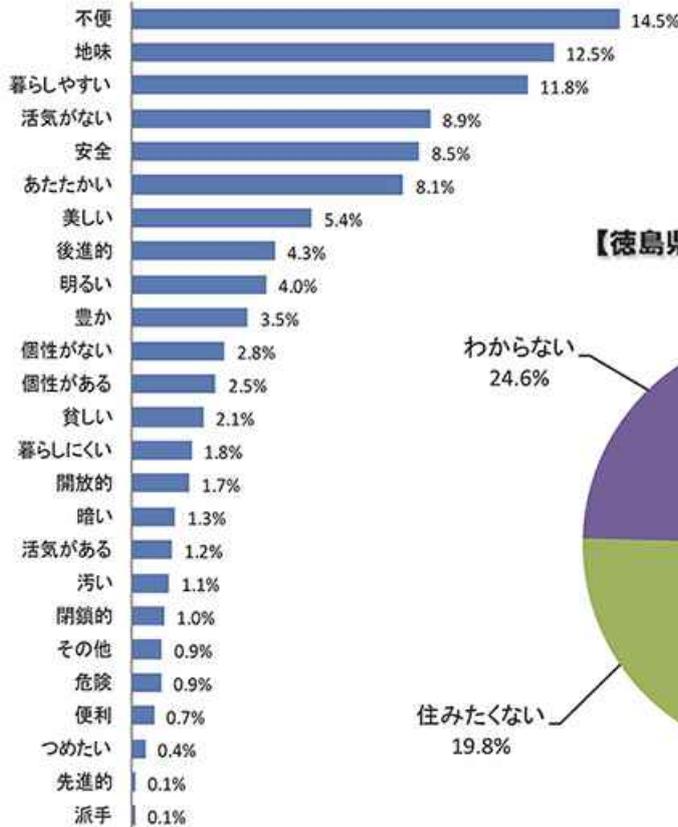
県民の皆さんから、SNS・パブリックコメント等を通じてたくさんのご意見をいただきました。その中から主な内容についてご紹介します。

- 少子化対策として、「結婚～出産～子育て」というライフプランの教育が必要。
- 夫婦が理想の数の子どもを持つためには、若年層の雇用環境の改善や、家庭で子育てしながら働くことができる多様な選択肢の提供が不可欠。
- 人口減少や超高齢化を見据えたコンパクトかつ計画的なまちづくりが重要。
- 地域防災力の向上には、個人の常日頃からの備えはもちろん、地域での信頼関係を築き、お互いの生活情報を増やし、相互扶助の地域づくりにつなげていくべき。
- 大規模災害への備えとして、県民への正確な情報の提供と防災教育の充実、耐震化への支援、備蓄品の改良・増量など、多面的な取り組みが必要。
- 洋上風力発電や潮流発電など、地産地消の自然エネルギーの導入を推進するとともに、ICTを活用し、世界最先端のスマートシティを実現する。
- 様々な課題解決の有効な手段として、また、産業の活性化のため、ロボット開発やICTなどの科学技術の進展は不可欠。また、4Kや8Kの普及促進、高速ブロードバンド網のあらゆる場面での活用など、徳島ならではの技術を進化させるべき。
- 人口減少や科学技術、防災など様々な面で、四国新幹線の実現がもたらす多大な効果に期待する。
- 高校生や大学生が気軽に海外留学できる環境づくりと併せて、外国人と学生が身近に異文化交流できる機会を増やし、グローバル社会で活躍する人材を育成すべき。

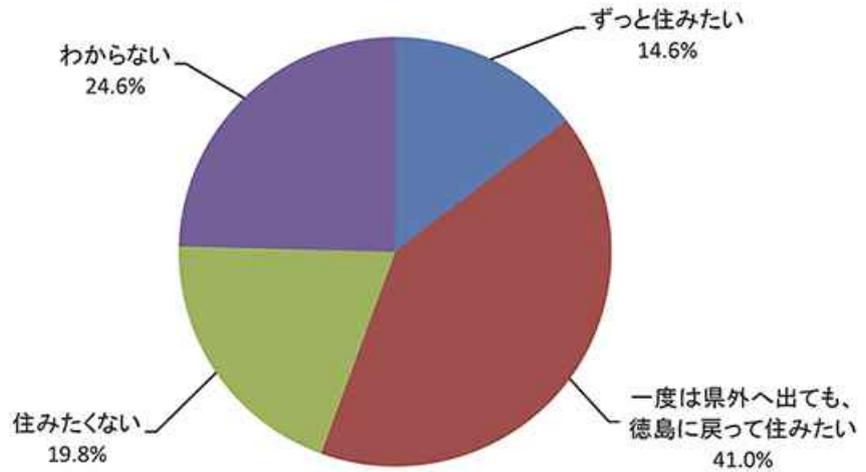
計画策定にあたりいただいたご意見 (高校生アンケート)

「徳島県に関する県内高校生アンケート調査」結果概要 (県立高校1,436人)

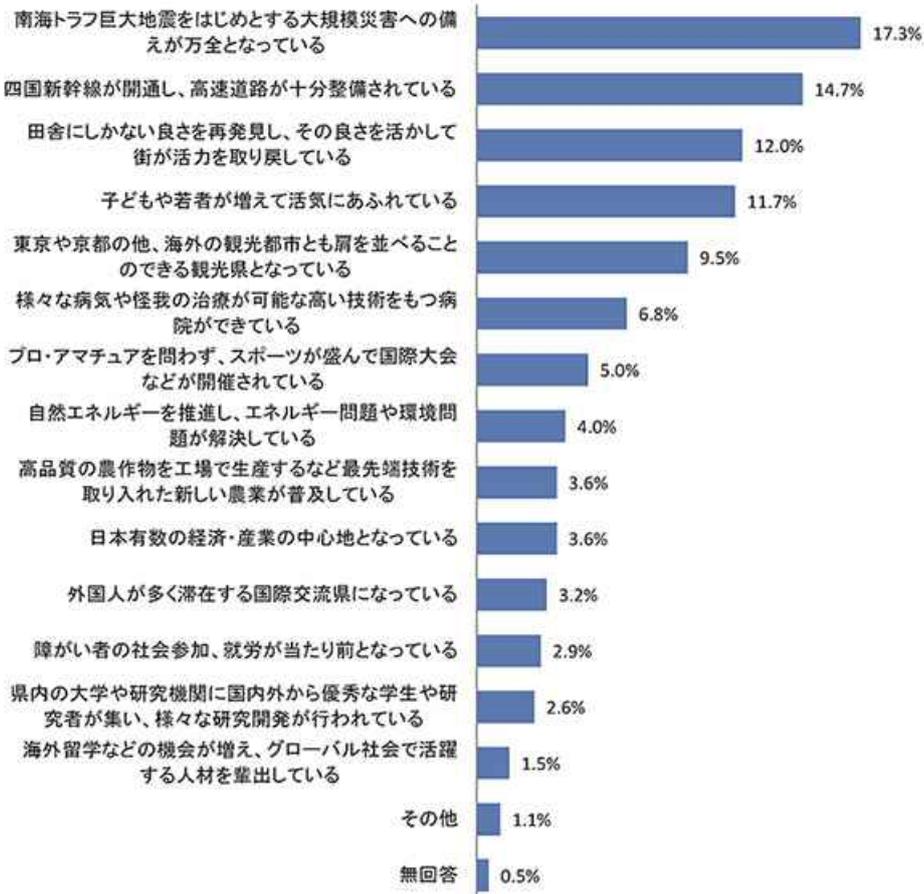
【徳島県のイメージについて】



【徳島県への定住志向について】



【2050年頃に希望する徳島像について】



ホントに都会じゃなきゃダメ？



仕事からの
平均帰宅時刻

18:02
全国1位!

(H23 社会生活基本調査)



第3子「保育園」「幼稚園」
「学童保育」費

無料化!

(H28.4～全国初の制度創設)



生涯現役!学びの場
「シルバー大学校」卒業生

のべ**13,552**人

(H28.3末)



<http://vs-tokyo.strikingly.com/>

徳島は宣言する VS 東京

10 の 「徳島宣言」

1. ここなら安心して子育てできることを。
2. 歳をとってもいきいきと輝けることを。
3. しなやかに災害に立ち向かうことを。
4. 山奥でも速い、日本一のネット環境を。
5. 女性が自分らしく生きられることを。
6. この地で生まれる、世界を変えるイノベーションを。
7. 日本の原風景を残していくことを。
8. この土地の「食」は、幸せをもたらすことを。
9. 世界に誇れる文化を発信することを。
10. 「おもてなし」のルーツがここにはあることを。

編集・発行

徳島県政策創造部総合政策課

〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
TEL : 088-621-2197 FAX : 088-621-2830
E-mail : sougouseisakuka@pref.tokushima.lg.jp